

会 議 記 録			
会議の名称	環境市民厚生常任委員会	会議場所 第1委員会室	
		担当職員 小野	
日 時	令和4年2月7日（月曜日）	開 議	午後 4 時 4 0 分
		閉 議	午後 4 時 5 7 分
出席委員	◎長澤 ○大塚 富谷 平本 並河 三宅 竹田 西口 福井		
理事者 出席者			
事務局	山内事務局長、小野主任		
傍聴者	市民 0名	報道関係者 0名	議員0名

会 議 の 概 要

1 正副委員長の互選について

[事務局主任説明]

<平本委員長>

それでは、先例・申合せを尊重し、委員長を辞任する。

<三宅副委員長>

辞任を許可することに異議はないか。

（異議なし）

<三宅副委員長>

異議なしと認め、辞任を許可する。選挙の方法は投票又は指名推選によることになっている。どちらの方法で行うか。

<並河委員>

投票で。

<三宅副委員長>

投票により行うことに異議はないか。

（異議なし）

<三宅副委員長>

異議なしと認め、選挙の方法は投票とする。投票は単記無記名投票で行う。

（投票）

<三宅副委員長>

これより開票を行う。立会人に平本委員、竹田委員を指名する。

（開票）

<三宅副委員長>

投票の結果を事務局から報告させる。

<事務局主任>

出席委員 8人

有効投票 8票

長澤委員 4票

大塚委員 4票

なお、法定得票数は、有効投票数の4分の1で2票である。

<三宅副委員長>

得票数が同数となった。この後の進め方について、事務局から説明させる。

<事務局主任>

亀岡市議会会議規則第126条第2項に基づき、得票数が同じときは、くじで定めることとなっている。1回目にくじを引く順番を決めるくじを行い、2回目に委員長を決めるくじを行っていただく。

<三宅副委員長>

そのように進めることに異議はないか。

(異議なし)

[くじを引く順番]

1 番目 長澤委員

2 番目 大塚委員

[委員長の決定]

長澤委員

<三宅副委員長>

長澤委員が、委員長に当選された。

[長澤委員長 委員長席へ移動]

<長澤委員長>

(就任あいさつ)

<三宅副委員長>

それでは、先例・申合せを尊重し、副委員長を辞任する。

<長澤委員長>

辞任を許可することに異議はないか。

(異議なし)

<長澤委員長>

異議なしと認め、辞任を許可する。選挙の方法は投票又は指名推選によることになっている。どちらの方法で行うか。

<西口委員>

指名推選で。

<長澤委員長>

指名推選により行うことに異議はないか。

(異議なし)

<長澤委員長>

異議なしと認め、選挙の方法は指名推選とする。それでは、私から指名したいと思うが、これに異議はないか。

(異議なし)

<長澤委員長>

異議なしと認め、大塚委員を副委員長に指名する。この指名に異議はないか。

(異議なし)

<長澤委員長>

異議なしと認め、大塚委員が副委員長に当選された。

[大塚副委員長 副委員長席へ移動]

<大塚副委員長>

(就任あいさつ)

2 審議会委員等の選出について

(1) 国民健康保険南丹病院組合議会議員(2名)

<事務局主任>

国民健康保険南丹病院組合議会議員については、定数が3人で、そのうち1人が議長であり、当委員会からは2人を選出している。現在は、大塚副議長と平本委員にお世話になっている。任期は在職期間中とされているが、どのように取り扱うか協議願いたい。なお、平本委員については、環境市民厚生常任委員長として選出してはどうかと提案があり、決定された経過がある。

<長澤委員長>

どのように取り扱うか。

<竹田委員>

前回と同様に、1人を委員長としてはどうか。

<長澤委員>

私を選出したいと思うが異議はないか。

(異議なし)

<長澤委員長>

もう1人の組合議会議員の選出は、どのように取り扱うか。

<平本委員>

京都総合医療センターは、移転など多くの課題があるので、引き続き大塚副委員長を選出してはどうか。

<長澤委員長>

大塚副委員長を選出したいと思うが異議はないか。

(異議なし)

<長澤委員長>

それでは、私と大塚副委員長に決定する。

(2) 亀岡市防災会議委員の選出について(委員長)

<長澤委員長>

事務局から説明を。

<事務局主任>

防災会議委員の選出については、申合せにより委員長のあて職として確認されている。それを踏まえて協議願いたい。

<長澤委員長>

防災会議委員については、申合せのとおり委員長を選出することとしてよいか。

—了—

散会 ～ 16 : 57